

研究発表論文執筆要領(2022年版)

1. 発表申込から研究発表までのフロー

大会学術講演会における発表申込から研究発表にいたる主な留意事項を以下に示す。

1.1 論文内容

研究発表論文として応募できる内容は、建築仕上げに関する最近の研究成果、工事記録、統計資料、調査結果等をまとめたものとする。

なお、応募論文は未発表のものとするが、本会の学術研究事業で、その成果等を既に学会誌または報告書で発表したもの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、特に建築の仕上げに関連の深いものはこの限りではない。

1.2 講演発表者

大会学術講演会における講演発表者は本会会員に限るが、共同発表者(連名者)は必ずしも会員である必要はない。

講演発表者は必ず大会学術講演会に出席し、講演発表をしなければならない。原則として、共同発表者の代理講演は認めない。

1.3 発表申込み

研究発表の応募は、本会所定の研究発表申込書を大会実行委員会へ提出することによって申込みとする。研究発表申込書の提出は、E-mail(申込書ファイルを添付して送信)とする。

2022年大会学術講演会(第33回研究発表会)における研究発表申込書の提出締切りは、「研究発表論文応募規程」に明記されているように、6月1日(水)17時必着とする。

提出された研究発表申込書により、大会実行委員会がその採否を決定し、不採択の場合は、その理由を付して本人に通知する。

1.4 発表論文の提出

研究発表申込みにより採択となった場合、発表論文を提出することとなるが、その場合、(1) 電子投稿(Adobe Acrobat を用いて変換した PDF ファイルのインターネットによる投稿)とする。

発表論文の提出締切りは、7月6日(水)17時必着とする。

発表申込書および発表論文の提出に際しては、その提出期限を厳守する。

1.5 著者用データシート

講演発表者は、後述する「発表論文データシート」に研究発表論文の要旨を記載し、発表論文とともに提出しなければならない。提出したデータシートは、独立行政法人 科学技術振興機構が運営している科学技術情報発信・流通総合システムの

データベースである J-STAGE に登録する。

このデータベースは、下記のホームページからだれでも自由に閲覧することができる。

1.6 発表登録費

講演発表者には請求書ならびに郵便振替用紙を送付するので、所定の発表登録費を事前に納入する。なお、数題にわたって応募する場合も、発表登録費は1題ごとに納入することになる。なお、共同研究者の発表登録費は不要とする。また、納入された発表登録費は返還しない。

1.7 発表論文の採否

発表論文の採否は大会実行委員会が決定するが、次の条項に照らし、大会学術講演会の発表内容として不相当と認められたものは採択されない。また、内容によっては、一部修正をお願いすることがある。

- 同一または類似の研究発表が既に行われているもの。ただし、既発表の研究内容を前進させたものはこの限りではない。
- 内容が商業宣伝に偏したもの(商(製)品名の使用は不可とする。企業名あるいは固有名詞は避ける)。
- 応募規定・執筆要領に反するもの。
- 論文に記した説明が著しく不十分なもの。
- 論文の論旨が不明確なもの。

1.8 研究発表論文集

発表部門(カテゴリー)は提出された発表申込書をもとに分類し、大会実行委員会においてプログラムを編成する。

採択された発表論文は、「日本建築仕上学会 大会学術講演会 研究発表論文集」に収録し、大会開催前に全会員に無料配布する。

研究発表論文集に掲載された研究発表論文の著作権は著者が有し、本会は出版権を持つものとする。

1.9 大会における発表

研究発表は発表者各自がパソコン等の機器をネットワークに接続しオンライン(zoom ウェビナー使用)にて資料を投影し、口頭発表とする。

同じ題目で、5編以上の連報については、1セッションに(60分以内)にまとめて頂くことをお願いする場合があります。

2. 研究発表申込書の書き方

本会所定の「研究発表申込書」を、図1に示す。この申込書は、募集案内とともに本誌3/4月号に掲載され、さらに本会のホームページからダウンロードすることができる。

研究発表申込書の記入内容は、以下の通りとす

る。なお、記載する題目・発表者名・共同発表者等は、申込時点のものであり、「研究発表論文集」におけるこれらの項目は、最終的に提出された論文に倣うものとする。

E-mail=shiage@finex.jp
日本建築工上学会 2022 年大会学術講演会
研究発表申込書

※発表希望 正会員：3,000円/1題 準会員：2,000円/1題 提出日：2022年 月 日

題目			
ふりがな	姓	名	会員番号
発表者名			
ふりがな			
所属先名			
部署			
役職			
連絡先	所属先または自宅のいずれかを記入して下さい		
〒			
TEL	FAX		
E-mail			
自宅住所	〒		
TEL	FAX		
E-mail			
共同発表者 氏名・所属	(書ききれない場合は別紙にご記入下さい)		
<p>※発表希望カテゴリー (いずれかに○を入れてください)</p> <p><input type="checkbox"/>1.コンクリート・モルタル・ALC <input type="checkbox"/>2.石・タイル・レンガ <input type="checkbox"/>3.塗料・仕上塗材</p> <p><input type="checkbox"/>4.機能性材料<small>①</small>・性能評価 <input type="checkbox"/>6.環境 <input type="checkbox"/>7.美観維持 <input type="checkbox"/>8.補修・改修 <input type="checkbox"/>9.調査・計画</p> <p><input type="checkbox"/>10.エコマテリアル・リサイクル <input type="checkbox"/>11.防水 (メンブレン、シーリング) <input type="checkbox"/>12.伝統建築</p> <p><input type="checkbox"/>13.その他 (具体的に)</p> <p>※カテゴリーはプログラム編成の関係で変更になることがあります。</p> <p>発表状況 <input type="checkbox"/>1. 初めての発表 <input type="checkbox"/>2. 昨年発表 <input type="checkbox"/>3. 1-2年前発表 <input type="checkbox"/>4. 3年以上前に発表</p> <p>※該当箇所に○を入れて下さい。</p>			

次頁へつづく

E-mail=shiage@finex.jp
日本建築工上学会 2022 年大会学術講演会
研究発表申込書

SDG 関連ゴール (該当する番号に○をつけてください。(複数回答可))

- 1 貧困をなくそう No Poverty
- 2 飢餓をゼロに Zero Hunger
- 3 すべての人に健康と福祉を Good Health and Well-being
- 4 質の高い教育をみんなに Quality Education
- 5 ジェンダー平等を実現しよう Gender Equality
- 6 安全な水とトイレを世界中に Clean Water and Sanitation
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに Affordable and Clean Energy
- 8 働きがいも経済成長も Decent Work and Economic Growth
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう Industry, Innovation, and Infrastructure
- 10 人や国の不平等をなくそう Reduced Inequalities
- 11 住み続けられるまちづくりを Sustainable Cities and Communities
- 12 つくる責任 つかう責任 Responsible Consumption, and Production
- 13 気候変動に具体的な対策を Climate Action
- 14 海の豊かさを守ろう Life below Water
- 15 陸の豊かさを守ろう Life on Land
- 16 平和と公正をすべての人に Peace, Justice and Strong Institutions
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう Partnerships for The Goals
- 18 該当なし

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



図1 研究発表申込書

2.1 題目

発表論文のタイトル(表題)は、内容を適切かつ具体的に表す。

サブタイトル(副題)を記載できるのは、一連の研究発表の場合だけとする。連続した研究で副題をつける場合は、その○ △△△△とし、()、()、()、()等の記号は付けない。サブタイトルもタイトルと同様に内容を適切かつ具体的に表す。

2.2 発表者名

姓・名前を活字体で正確に記入するとともに、そのふりがなを記入する。また、会員番号は必ず記載すること。なお、申込み時に未入会の方は、会員番号欄に「申請中」と記載し、速やかに所定の入会申込書を提出する。

2.3 所属先名称・部署・役職

所属先名称・部署は、省略せずに正確に記入し、所属先名にふりがなを併せて記入する。

例：「東工大」とはせず、「東京工業大学」とする。
「建築仕上(株)」とはせず、「建築仕上株式会社」とする。

2.4 連絡先住所等

研究発表に関する連絡先として、勤務先および自宅の郵便番号、住所、電話・ファクシミリ番号・電子メールアドレスを必ず記入する。後日、発表等に関する情報・連絡事項等は全て電子メールにて送付するので、継続的に利用できる電子メールアドレスを必ず登録する(携帯電話のメールアドレスは受付ない)。

2.5 共同発表者氏名・所属

共同発表者の氏名および所属を記入する。なお、所属先は会社名および所属部署を記入する。

2.6 論文要旨

発表論文の要旨を、日本語で300字程度にまとめて記入する。

2.7 発表希望カテゴリー

発表を希望するカテゴリーを選択し、○で囲む。該当するカテゴリーがない場合は「その他」とし、具体的なカテゴリーを記入する。

3. 研究発表論文の書き方

研究発表論文は、電子投稿・紙面投稿ともに本執筆要領にしたがって執筆し、仕上がりは同じ体裁とする。図2~4に論文書式例を示す。

3.1 用紙設定

用紙サイズはA4判とし、横書き2段組の4ページとする。左右の段の間隔は10mmとし、余白は4ページとも、いずれも天地左右20mmとす

る。余白には、印刷・製本時に講演番号やページ番号を記すため、所定の余白は必ず確保する。

本文の体裁は、行間 1.5mm、字間 0.3mm 程度を目安とし、文字の大きさは明朝体 10～12ポイントを標準とする。文字の大きさ・行数・文字数は表 1 に示す通りである。

表 1 文字の大きさ・行数・文字数について

文字の大きさ (ポイント)	行数 (行)	文字数	
		1 段	1 ページ
10	51	20	2040
11	48	19	1829
12	45	17	1530